

チェンジ

2

強いまちづくり

首都直下地震の

「被害想定」を3年で半減へ

港区の被害想定は、建物全壊約800棟、エレベーター閉じ込め1300台以上、避難者約6万人、帰宅困難者約53万人。

この20年で、港区は人口が10万人以上増え、9割がマンション住民になり、タワーマンションも増え、街は激変しました。

しかし、港区の防災は、町会・自治会頼みのままです。専門家チームを設置し、マンション防災対策を進め、全国に先駆けた「都市型防災モデル」を早急に確立する必要があります。

港区では、「被害想定」を6年で半減するとしていますが、現実的な実効性ある防災対策に見直すことで、倍のスピードで半減させます。区民27万人の命を確実に守ります。



港区平和都市宣言

かけがえのない美しい地球を守り、世界の恒久平和を願う人びとの心は一つであり、いつまでも変わることはありません。

私たちも真の平和を望みながら、文化や伝統を守り、生きがいに満ちたまちづくりに努めています。

このふれあいのある郷土、美しい大地をこれから生まれ育つ子どもたちに伝えることは私たちの務めです。

私たちは、我が国が『非核三原則』を堅持することを求めるとともに、ここに広く核兵器の廃絶を訴え、心から平和の願いをこめて港区が平和都市であることを宣言します。

昭和60年8月15日

港 区